

😊 子どもたちの思いを大切にします 😊



<まなびの支援教室の目的>

どの子どもも得意な面と苦手な面をもっています。子どもが成長し、自己の力を発揮し、自立的に社会に適応していくためには、得意な面を伸ばし、苦手な部分を改善・克服していくことの両面が必要だと考えられます。しかし、苦手なことの改善・克服だけに努力し続けることはとても難しいことです。そこで、誰もがもっている「よさ」の部分を伸ばすことで、自分に自信をもてるようサポートします。そして、苦手な部分も含めて「自分らしさ」にきちんと向き合い、人や社会とのつながりをみんなで考えていくことを目指します。

<まなびの支援教室で大事にしたいこと>

①自己理解（自己の個性化と社会化のバランス）

- ・自分のよさに気づく
- ・できそうなことを増やす
- ・得意をもっと得意にする
- ・何に苦手を感じるのかを知る
- ・自分が落ち着く場所・落ち着ける人を見つける
- ・困ったときの対処法を知る
- ・自分の思考のくせや感情を知る
- ・「ライフスキルチャレンジ」に取り組む
- ・「自分のためのまなびプラン」を作る など

②社会性（他者や社会とのつながり、日常生活スキル）

- ・コミュニケーション（話し方・聞き方）を学ぶ
- ・他者（家族・友人・学級）との付き合い方を学ぶ
- ・仲間と気持ちよく過ごすポイントを学ぶ
- ・困ったときに相談する大切さを知る
- ・「報告・連絡・相談」をする
- ・合意形成の仕方を学ぶ
- ・セルフコントロールについて知る



<指導形態>

①通級指導（まなびの支援教室での指導）

- ★グループ指導または個別指導で、自己理解や社会性を培うとともに、子どもの個性を引き出し、もっている力を、さらに伸ばすきっかけをつくります。
- ★児童に応じて、本人の課題や成長について通級担当や保護者等と一緒に話し合う「本人参加型会議」を行います。

②協働型巡回指導（在籍校での指導）

- ★本人との信頼関係を築いた上で、協働型巡回指導を始めます。通級担当教諭が在籍校へ行き、在籍学級の担任や児童支援専任等と連携を図りながら、通級指導教室で学んだことを本人が在籍校で生かせるようサポートします。

<本人・保護者支援>

- 目的に応じた対話に基づく支援
- 相談活動を通して課題を解決するための支援
- レジリエンス（心の回復力）を高めるための支援

<関係機関等との連携>

- 学校カウンセラー
- 地域療育センター
- 特別支援教育総合センター
- 児童相談所

等